# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number: 2001-308808 (43) Date of publication of application: 02.11.2001

(51)Int.Cl. H04H 1/00 G06F 13/00

H040 7/38

(21)Application number : 2000-122571 (71)Applicant : KOBE STEEL LTD

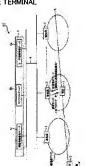
(22)Date of filing: 24 04 2000 (72)Inventor: NISHIMOTO YOSHIRO NARASAKI HIROSHI

> TAKAHASHI FIJI FURUKAWA JUNICHI MARUYAMA MASAKATSU

IKEDA HIDEO SHIRASAKA TAKANARI

# (54) INFORMATION DISTRIBUTION SYSTEM AND PORTABLE TERMINAL (57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an information distribution system, capable of efficiently distributing information matched to the desire of each user without having to perform troublesome operations. SOLUTION: This information distribution system Z1 consists of portable terminals 2, base stations 1 and a server. The server 3 connects a plurality of base stations 1 through a dedicated communication line 4. etc. The stations 1 use an ISM band and respectively have a radio communication area with a radius of about 50 m. A portable terminal 2 detects that the terminal 2 has entered within the area of a base station 1 and transmits an characteristic identification ID to the base station 1. The station 1 recognized the terminal 2 on the basis of the received identification ID and simultaneously transmits information to each portable terminal within the radio communication area, according to a distribution schedule organized, on the basis of the favorite information (e.g. information preset in the server 3) of the recognized portable terminal or its owner.



Japanese Patent Laying-Open No. 2001-308808

[Claim 1] An information distribution system distributing information wirelessly from a base station to a plurality of portable terminals, said portable terminal transmitting predetermined information to said base station upon detection of having entered a wireless-communications area of said base station, said base station identifying said portable terminals having entered said wireless-communications area based on said predetermined information received from said portable terminals, and in accordance with a distribution schedule organized based on preference information of the identified portable terminals or their owners, broadcasting information to each of the portable terminals in said wireless-communications area.

[Claim 2] The information distribution system in accordance with claim 1, wherein said predetermined information transmitted by said portable terminal contains identification information on said portable terminal or its owner, said preference information of each said portable terminal or its owner is previously registered in said base station or a server capable of communicating with said base station, and said base station or said server organizes said distribution schedule based on said predetermined information received from said portable terminal and said preference information previously registered for each said portable terminal or its owner.

[Claim 3] The information distribution system in accordance with claim 2, wherein said preference information is registered through one of said portable terminal, the Internet, and a public line.

[Claim 4] The information distribution system in accordance with claim 1, wherein said predetermined information transmitted by said portable terminal contains said preference information of said portable terminal or its owner, and said base station or said server capable of communicating with said base station organizes said distribution schedule based on said preference information received from said portable terminal.

[Claim 5] The information distribution system in accordance with any one of claims 1 to 4, wherein based on a request from a specific portable terminal or its owner, said base

station transmits specific information with identification information of said specific portable terminal, and said portable terminal is configured to be capable of reproducing said specific information only when its own identification information matches said identification information added to said specific information.

[0006] Based on a request from a specific portable terminal or its owner, the abovedescribed base station transmits specific information with the identification information terminal is configured to be capable of reproducing the above-described specific information only when its own identification information matches the above-described identification information added to the above-described specific information, it is possible to prevent specific information distributed toward a specific portable terminal from being reproduced by another portable terminal. A similar function to one-to-one information distribution can thereby be achieved while taking the form of broadcast-type information distribution. At this time, the above-described portable terminal may be configured to, for example, delete the above-described specific information as received when the above-described identification information added to the specific information does not match its own identification information. Herein, if it is configured such that a request for the above-described specific information can be input previously through the Internet or a public line, and that the above-described base station transmits the above-described specific information when a portable terminal, which is a target of the request, enters a wireless-communications area with a request for the specific information having been input, then, a user can automatically and conveniently obtain the information without any particular operation when he/she enters the wirelesscommunications area of the base station next time, by previously setting the request for the specific information.

# (19)日本国特許庁 (JP) (12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出闡公開番号 特開2001-308808 (P2001-308808A)

(43) 公開日 平成13年11月2日(2001.11.2)

(51) Int.CI.7	戦別記号	F I	テーマコード(参考)
H 0 4 H 1/00		H 0 4 H 1/00	G 5K067
G06F 13/00	5 4 0	G06F 13/00	540P
H 0 4 Q 7/38		H04B 7/26	1 0 9 M

## 審査請求 未請求 請求項の数22 OL (全 21 頁)

(21)出願番号	特職2000-122571(P2000-122571)	(71) 出願人	000001199
			株式会社神戸製鋼所
(22) 出版日	平成12年 4 月24日 (2000. 4, 24)		兵庫県神戸市中央区脇浜町1丁目3番18号
		(72) 発明者	西元 善郎
			兵庫県神戸市西区高端台1丁目5番5号
			株式会社神戸製鋼所神戸総合技術研究所内
		(72) 発明者	裕裕 博司
			兵庫県神戸市西区高な台1丁目5番5号
			株式会社神戸製御所神戸総合技術研究所内
		(74)代理人	100084135
		(10)(42)(	弁理士 本庄 武男
			THE AN

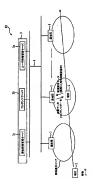
最終質に続く

# (54) 【発明の名称】 情報配信システム及び携帯端末

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 各ユーザの希望に合った情報を、煩わしい操 作なしで、効率よく配信することが可能な情報配信シス テムを提供する。

【解決手段】 情報配信システム21を、携帯端末2. 基地局 1. 及びサーバ3により構成する。サーバ3には 複数の基地局1を専用通信線4等によって接続する。基 地局1は1SMバンドを用い、それぞれ半径50m程度 の無線通信エリアを有する。携帯端末2は、基地局1の エリア内に入ったことを検知して基地局 1 に対して固有 の識別 I Dを送信する。基地局 1 は受信した識別 I Dに 基づいて携帯端末2を認識し、認識された携帯端末若し くはその所有者の好み情報 (例えばサーバ3に予め設定 される) に基づいて編成された配信スケジュールに従っ て、上記無線通信エリア内の各携帯端末に対して一斉に 情報を送信する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 1つの基地局から複数の推帯端末に対し て無線により情報を配信する情報配信システムであっ て、上記携帯端末は、上記基地局の無線通信エリア内に 入ったことを検知して上記基地局に対して所定の情報を 送信し、上記基地局は、上記携帯端末から受信した上記 所定の情報に基づいて上記無線通信エリア内に入ったト 記携帯端末を認識し、それら認識された携帯端末若しく はその所有者の好み情報に基づいて編成された配信スケ ジュールに従って、上記無線涌信エリア内の各携帯端末 10 に対して一斉に情報を送信することを特徴とする情報配 信システム。

【請求項2】 上記携帯端末が送信する上記所定の情報 には上記携帯端末若しくはその所有者の識別情報が含ま れており、また、上記基地局内若しくは該基地局と通信 可能なサーバ内には、上記携帯端末毎若しくはその所有 看毎の上記好み情報が予め登録されており、上記基地局 若しくは上記サーバは、上記携帯端末から受信した上記 識別情報と、上記携帯端末若しくはその所有者毎に予め 登録された上記好み情報心に基づいて上記配信スケジュ 20 一ルを編成する請求項1記載の情報配信システム。

【請求項3】 上記好み情報の登録を 上記推帯端末 インターネット、公衆回線のいずれかを介して行うこと が可能な請求項2記載の情報配信システム。

【請求項4】 上記携帯端末が送信する上記所定の情報 には上記携帯端末若しくはその所有者の上記好み情観が 含まれており、上記基準局若1,くは該基地局と通信可能 なサーバは、上記携帯端末から受信した上記好み情報に 基づいて上記配信スケジュールを編成する請求項1記載 の情報配信システム。

【請求項5】 上記基地局は、特定の携帯端末若しくは その所有者からの要求に基づいて、特定の情報を上記特 定の携帯端末の識別情報を付加して送信し、上記携帯端 末は、自分自身の識別情報と上記特定の情報に付加され た上記識別情報とが一致した場合にのみ上記特定の情報 を再生可能に構成されてなる請求項1~4のいずれかに 記載の情報配信システム。

【請求項6】 上記携帯端末は、上記特定の情報に付加 された上記識別情報と自分自身の識別情報とが一致しな い場合には、受信した上記特定の情報を破棄するように 40 構成されてなる請求項5記載の情報配信システム。

【請求項7】 上記特定の情報の要求を 予めインター ネット若しくは公衆回線を介して入力可能であり、上記 基地局は、上記特定の情報の要求が入力された状態でそ の要求の対象である携帯端末が無線通信エリア内に入っ た時、上記特定の情報の送信を行う請求項5又は6記載 の情報配信システム。

【請求項8】 上記基地局が、上記特定の情報の要求を 入力する入力手段を具備し、上記基地局は、上記入力手 定の情報の送信を行う請求項5又は6記載の情報配信シ ステム.

【請求項9】 上記特定の情報の要求を、上記携帯端末 を介して入力可能であり、上記基地局は、上記模帯端末 を介して上記特定の情報の要求が入力された時点で上記 特定の情報の送信を行う請求項5又は6記載の情報配信 システム。

【請求項10】 上記基地局が上記携帯端末から受信し 」 た上記所定の情報と、該所定の情報に対応して送信した 情報の送信実績とに基づいて、上記携帯端末若しくはそ の所有者に対する課金情報を生成する請求項1~9のい

ずれかに記載の情報配信システム。 【請求項11】 ト記携帯端末が送信するト記所定の情 報に、過去に正常に受信した情報の受信実績記録若しく はそれらの情報の再生実績記録が含まれ、基地局で受信 された上記受信実績記録若しくは上記再生実績記録に基 づいて上記携帯端末若しくはその所有者に対する課金情 報を生成する請求項1~9のいずれかに記載の情報配信

システム。 【請求項12】 上記携帯端末は、上記基地局から受信 した情報のメモリへの保存の優先順位を、予め設定され た好み情報と上記情報の属性情報とに基づいて決定する 請求項1~11のいずれかに記載の情報配信システム。 【請求項13】 上記携帯端末は、上記基地局から受信 した情報のメモリへの保存の優先順位を、予め設定され た好み情報と上記情報の属性情報との距離が小さいもの ほど高く設定する請求項12記載の情報配信システム。 【請求項14】 基準局から無線により配信される情報

を受信する携帯増末であって、上記基地局の無線涌信工 30 リア内に入ったことを検知して上記基地局に対して所定 の情報を送信した後、上記基地局から、上記所定の情報 の受信によって認識された当該携帯端末若しくはその所 有者の好み情報に基づいて編成された配信スケジュール に従ってその無線通信エリア内の全ての携帯端末に対し て一斉に送信される情報を受信することを特徴とする携

【請求項15】 上記基地局に対して上記好み情報の登 録を行う好み情報登録手段を具備してなる請求項14記 総の携帯端末。

【請求項16】 上記基地局に対して送信される上記所 定の情報には、当該携帯端末若しくはその所有者の上記 好み情報が含まれてなる請求項14記載の携帯端末。

【請求項17】 特定の携帯端末の識別情報が付加され て上記基地局から送信された特定の情報を受信した時、 自分自身の識別情報と上記特定の情報に付加された上記 識別情報とが一致した場合にのみ上記特定の情報を重生 可能に構成されてなる請求項14~16のいずれかに記 載の携帯端末。

【請求項18】 上記特定の情報に付加された上記機関 段から上記特定の情報の要求が入力された時点で上記特 50 情報と自分自身の識別情報とが一致しない場合には、受 信した上記特定の情報を破棄するように構成されてなる 請求項17記載の携帯端末。

【請求項19】 上記基地局に対して上記特定の情報の 要求を行う配信要求手段を具備してなる額求項17 Vは 18記載の携帯端末。

【請求項20】 上記基地局に対して送信される上記所 定の情報に、過去に正常に受信した情報の受信実績記録 若しくはそれらの情報の再生実績記録が含まれてなる請 求項14~19のいずれかに記載の携帯端末。

【請求項21】 上記携帯端末は、上記基地島から受信 10 した情報のメモリへの保存の優先順位を、予め設定され た好み情報と上記情報の属件情報とに基づいて決定する 請求項14~20のいずれかに記載の携帯端末。

【請求項22】 上記携帯端末は、上記基地局から受信 した情報のメモリへの保存の優先順位を、予め設定され た好み情報と上記情報の属性情報との距離が小さいもの ほど高く設定する請求項21記載の推帯端末。

## 【発明の詳細な説明】

#### [0001]

【発明の属する技術分野】本発明は、音楽、画像、文字 20 などのディジタル情報を各ユーザの携帯端末に配信する 情報配信システム及びその複帯端末に関するものであ る。

#### [0002]

[従来の技術] 近年、ディジタル処理技術の進展や情報 通信/再生機器の小型・高性能化、通信手段の多様化な どにより、音楽、映像、文字情報などを通信回線を通じ て個人の端末に配信する情報配信システムが実用化され つつある。このような情報配信システムのうち、既に実 用化段階にあるものとして、例えばJR西日本によって 1999年9月1日から実証実験が開始されている自動 販売機による情報配信サービスや、衡量を用いた放送型 のディジタル情報配信などがある。上記自動販売機によ る情報配信サービスは、駅などに設置された自動販売機 に音楽コンテンツなどのディジタルデータを蓄積してお き、購入希望者のメモリカードに所望の情報を直接書き 込むサービスである。

#### [0003]

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、これら の既存の情報配信サービスには次のような問題点があっ 40 た。まず、上記自動販売機による情報配信サービスで は、自動販売機に挿入されたユーザのメモリカードに情 報を直接ダウンロードするため、ユーザの希望通りの情 報を配信できるというメリットはあるものの、1台の自 動販売機では一時に一人のユーザにしかサービスができ ないという問題点があった。従って、例えば複数のユー ザが同一の情報を望んでいたとしても全員に同時に配信 することはできず、待ち行列を形成した上で順次配信を 行う必要があった。これでは、たとえどんなに高速でデ ータをダウンロードできたとしても短時間で多数のユー 50 サーバ内に上記携帯端末毎若しくはその所有者毎の上記

ずに情報を提供することはできず、実用面で問題があ る。また、ユーザがわざわざ自動販売機の前に行ってメ モリカードの抜き差しなどの煩わしい操作をしなければ ならないという点も問題であった。更に、メモリカード とのコネクタ部分の接触不良など、機械的な不具合が発 生し易いという問題点もあった。一方、上記衛星を用い た放送型のディジタル情報配信では、同時に広い範囲の 多数のユーザに対して情報を送信できるというメリット があるものの、情報の配信は予め決められた配信スケジ

ュールに従って行われるため、受信した情報が必ずしも ユーザの希望にかなったものとならないという問題点が あった。即ち、ユーザは好きなときに自分の希望涌りの 情報を得ることができない。本発明は上記事情に鑑みて なされたものであり、その目的とするところは、各ユー ザの希望に合った情報を、煩わしい操作なしで、効率よ く配信することが可能な情報配信システム及びその情報 の受信に用いる携帯端末を提供することである。

#### [0004]

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため に、第1の発明は、1つの基地局から複数の推搭端末に 対して無線により情報を配信する情報配信システムであ って、上記携帯端末は、上記基地局の無線通信エリア内 に入ったことを検知して上記基地局に対して所定の情報 を送信し、上記基地局は、上記携帯端末から受信した上 記所定の情報に基づいて上記無線通信エリア内に入った 上記携帯端末を認識し、それら認識された携帯端末若し くはその所有者の好み情報に基づいて編成された配信ス ケジュールに従って、上記無線通信エリア内の各携帯端 末に対して一斉に情報を送信することを特徴とする情報 配信システムとして構成されている。このように、無線

を用いた放送形式の情報配信を行うことによって、同一 のコンテンツを要求する複数のユーザに対しては従来の 1対1の情報配信のような待ち行列を伴うことなく情報 を同時に複数のユーザに配信することが可能であると共 に、基地局の無線通信エリア内に存在する機帯端末の好 み情報に基づいて編成された配信スケジュールに従って 情報を配信するため、放送形式の情報配信でありなが ら、その時々に基準局との通信エリア内に存在する個々 のユーザのニーズに合った情報配信を行うことが可能と

なる。また、通信手段として無線を用いており、携帯端 末は基地局の無線通信エリアに入ったことを検知して自 動的に情報の受信を行うため、ユーザは情報の受信に先 立ってコネクタによる機器の接続など頂わしい操作を行 う必要がない。

【0005】また、基地局の無線通信エリア内に入った 携帯端末に関する好み情報を基地局側で取得する仕組み としては、例えば上記携帯端末が送信する上記所定の情 報に上記携帯端末若しくはその所有者の識別情報を含ま せておき、上記基地局内若しくは該基地局と通信可能な

好み情報を予め登録しておけば、上記集地局看しくは上記サーバは、上記券所衛端におから受信した記録的情報に基づいて上記録所報法に関する好み情報を取得できる。この時、上記好が情報の登録は、例えば上記清帯端末、インターネット、公美四部等を大力にく行うことが可能である。また、基地局の無線遺信エリアがに入った携帯端末に関する好力情報を基地局側で取得するその他の仕組上記携帯端末若見くはその所有者の上述好か消報を含ませておくことも考えられる。これにより、基地局側で好力消報を検索する第の地域自命や、サーバたの好み情報を基地に送信する第の地域自命や、サーバたの好み情報を基地に送信する第の地域自命や、サーバたの好み情報を基地に送信する第の地域自命や、サーバたの好み情報を基地に送信する第の連信自命や、サーバたの好み情報を基地に送信する第の連信自命やを軽減することが可能である。

【0006】また、上記基地局は、特定の携帯端末若し くはその所有者からの要求に基づいて、特定の情報を上 記特定の携帯端末の識別情報を付加して送信し、上記携 帯端末は、自分自身の識別情報と上記特定の情報に付加 された上記識別情報とが一致した場合にのみ上記特定の 情報を再生可能に構成すれば、特定の携帯端末に向けて 配信される特定の情報が、その他の携帯端末に再生され 20 ることを防止できる。これにより、放送型の情報配信の 形をとりながら、1対1の情報配信と同様の機能も同時 に達成することができる。この時、上記携帯端末は、上 記特定の情報に付加された上記識別情報と自分自身の識 別情報とが一致しない場合には、例えば受信した上記特 定の情報を破棄するように構成すればよい。ここで、上 記特定の情報の要求を 予めインターネット若しくは公 衆回線を介して入力可能とし、上記基地局は、上記特定 の情報の要求が入力された状態でその要求の対象である 携帯端末が無線通信エリア内に入った時、上記特定の情 30 報の送信を行うようにすれば、ユーザは予め上記特定の 情報の要求を設定しておくことで、次に基地局の無線消 信エリア内に入った時には特に何の操作も行うことなく 自動的にその情報が取得でき、便利である。

目動門に七の情報の取代をき、欧利である。 【0007】また、上記籍地配上記物産の情報の要求 を入力する入力手段を搭載し、上記基地局は、上記入力 等段から上記料定の情報の要求が入力された時点で上記 特定の情報の要求を上記博布総末を介して入力可能と し、上記基地局は、上記博布総末を介して工力可能と し、上記基地局は、上記博布総末を介して工力可能と も、上記基地局は、上記特定の情報の設定合を行う ように構成すれば、ユーザは基地局或いば博布端末から 欲しい情報を入力すればその時点ですにその欲しい情 報配と関することができ、従来の自動表の機を用いて情 報配と同様の機能も実現できる。但し、無線を用いて 情報を受信するため、従来のようにコネクタによる機器 の接続さどの現たしい場件を行う必要はない。

[0008]また。各携帯総末への器会情報について は、上記越地局が上記携帯総末から受債した上記所定の 情報と、認所定の情報に対応て送信した情報の送信束 50 ISM(Industrial, Scientific, Medical) バンド (金装・ 1 SM(Industrial, Scientific, Medical) バンド (金装・

職とに基づいて生ますることが考えられるが、正確な課金を行うためには返信した情報が携帯端末で正常に受信されていることを確認する必要がある。この問題の方法としては、上記携帯端末が返信する上版所定の情報によれて常化受信した特徴の受信した特徴の受信を対象が直接が行くはそれらの情報の再生実権記録を含ませておき、基地局で受信した上級受信実施記録としては上記年生実施記録とあって課金を行うようにすることが考えられる。これにより、基地局から送信された情報が携帯端末側で正常に受情されたがからを認定でさいよりの支条の放送所式の情報配信の欠点を解消し、正しく課金処理を行うことが

(届されたが否かを確認できないという定米の放送形式の 情報配信の欠点を解消し、正し、確企処理を行うことが 可能となる。更に、上記携帯端末は、上記基地側から受 信した情報のメモリへの保存の優先順位を、予め設定さ れた好み情報と上記開等の間を一般では、例え ばそれらの野蛙が小さいものほとぎ、設定するようにす れば、ユーザの好み情報に合致しない情報を自動的に持 除することができ、情報用生の限のユーザの利便性が向 上すると共に、限りある記憶容量を有効に利用すること が可能である。

20 【0009】また、第2の発明は、上記第1の発明に係る情報配信システムを構成する携帯端末である。 【0010】

配信コンテンツに関する管理情報の一例である。
【0011】本実施の形態に係る情報配信システム21 は、図1に示すように、携帯端末2、 抵地局1, 及びサーバ3により構成されている。また、上記携帯端末2及び上記差地筒1は更に図2に示すようた。サバ3には、駅などの人が集まる場所に設置される複数の基地局1が、例えば時用通信線4によって接続されている。 正記差地局16(3)

科学医療用の機器に開放された周波数帯、2.4GH z、10mW以下)を用いた無線通信機能を有し、それ ぞれ半径50m程度の無線通信エリアを有している。上 記携帯端末2は、予め登録されたユーザによって機構さ れる端末で、上記基地局1の無線通信エリア内において その基地局1との間で高速の無線通信が可能である。上 記サーバ3、基地局1、及び携帯端末2の構成を更に詳 しく説明する。

【0012】(サーバ3)図1に示すように、上記サー バ3は、ユーザ情報管理サーバ3a、コンテンツサーバ 10 3 b. 及び課金情報管理サーバ3 cにより構成されてい る。上記サーバ3は、物理的に1つのコンピュータで構 成しても複数のコンピュータで構成してもよい。ここ で、上記コンテンツサーパ3 bには、ユーザに配信する ための各種コンテンツデータが、所定の方式にて圧縮さ れた状態で蓄積される。蓄積されるコンテンツデータの 種類としては、例えば静止面、動画などの画像コンテン ツ、音楽コンテンツやそれらの複合コンテンツ、ニュー ス等の文字/音声コンテンツなどが考えられる。これら CD、FM放送などのアナログ音声をディジタル化した ものなど様々なものが考えられる。また 例えばText-t o-speechを用いてテキスト文書から音声コンテンツを生 成することも可能である。尚、上記コンテンツデータが 音楽などの音声情報の場合、上記エンコード装置4で用 いる圧縮方式としては、TwinVQ, MP3, AA C, WAVなどを用いることができる。また、上記コン テンツサーパ3 bには、各コンテンツデータと共に、そ れら各コンテンツデータの属性情報が格納される。ここ で、上記属性情報とは、各「属性」に対する該当度で設 30 定される。また、上記「属性」とは、「ニュースであ る」、「クラシック音楽である」といった、コンテンツ の内容に関する命題であり、属性値とは、その命類との 該当度を示し、例えば0から100までの整数で与えら れる。スポーツニュースのコンテンツデータであれば、 例えば「ニュース」、「スポーツ」といった属性の属性 値が例えば60、40などと設定される。

【0013】また、上記ユーザ情報管理サーバ3aに は、全登録ユーザの好み情報が予め格納されている。上 記好み情報は、上記コンテンツデータの属性情報と同 様、複数の「属性」に対する該当度で設定される。例え ば、「ニュース」と「クラッシック音楽」を希望するユ ーザの好み情報は、「ニュース」と「クラッシック音 楽」が例えばそれぞれ50,50に、その他の「JPO P」、「洋POP」等は0に設定される。また、上記ユ ーザ情報管理サーパ3 aには、更に個別のコンテンツデ ータの配信を希望するユーザからの個別配信要求情報が 格納される。この個別配信要求情報は、上記好み情報の ようなジャンル(属性)別ではなく、例えばある歌手の 所定の楽曲などの形で具体的に設定される。ここで、上 50 理情報は、そのコンテンツのタイトル、上記属性情報、

記好み情報や上記個別配信要求情報は、例えばインター ネット等を介してユーザの自宅等から事前に行えるよう にすることが望ましい。また、上記課金情報管理サーバ 3 cには、各ユーザ毎の課金情報が管理されている。ユ ザへの課金は、例えば上記好み情報に基づく通常の配 信については定額の範囲内で行い、上記個別配信要求に よる個別の配信については配信されたコンテンツデータ 毎に追加料金を加算することが考えられる。課金処理に ついての詳細は後述する。

【0014】(基地局1)上記基地局1は、図2に示す ように、通信制御部11、コンテンツデータ記憶部1 2、配信スケジュール生成部13、及び送受信ユニット 14を具備して構成されている。上記通信制御部11 は、上記サーバ3との通信を制御する。上記コンテンツ データ記憶部12は、上記コンテンツサーバ3 b から例 えば定期的に転送されるコンテンツデータ及びその属性 情報が格納される。上記コンテンツサーバ3bからこの コンテンツデータ記憶部12に転送されるコンテンツデ 一タは、例えば基地局毎の配信実績等を考慮して選択さ のコンテンツデータの情報源は、インターネットや音楽 20 れる。例えば、クラシック音楽の配信が多く、ポップス の配信が少ない基地局には、その配信実績に応じてクラ シック音楽に履するコンテンツデータが多めに、ポップ

スに属するコンテンツデータが少なめに送信され、コン

テンツデータ記憶部12に格納される。 【0015】また、上記配信スケジュール生成部13 は、当該基地局1の無線通信エリア内に入った携帯端末 2から送信される識別 I D (詳細は後述する) に基づい て現時点で情報の受信が可能な状態にある維帯端末2を 認識すると共に、その識別 [ Dに該当するユーザの好み 情報を上記ユーザ情報管理サーバ3 a より取得する。そ して、上記コンテンツデータ記憶部12内に格納されて いる各コンテンツデータの属性情報と、上記ユーザの好 み情報とに基づいて、コンテンツデータの配信スケジュ 一ルを生成する。このように、半径約50mという関ち れた無線通信エリア内に存在する携帯端末を認識し、そ れら携帯端末毎に予め設定された好み情報に基づいてコ ンテンツデータの配信スケジュールを生成するため、生 成される配信スケジュールは従来の広域での放送型情報 配信のものと比べて各携帯端末のユーザの嗜好に合った 40 ものとなる。また、上記ユーザ情報管理サーバ3 a に、 受信した識別 I Dに対応する上記個別配信要求情報が登

個別配信要求情報に設定されているコンテンツデータを 上記配信スケジュールに組み込む。この配信スケジュー ルの生成処理の具体例は後述する。配信スケジュールが 決定すると、配信スケジュール生成部13はその配信ス ケジュールに従って送信データを生成する。この送信デ 一タは、図4に示すように、コンテンツデータとそのコ ンテンツの管理情報とで構成される。上記コンテンツ管

録されている場合には、上記好み情報に優先して、上記

その送信データを受り取り可能な排物能なの識別 ID 等 により構成されている。こで、その送信データを受け 取り可能な排帯端末の識別 IDは、そのコンテンツデー タが上値側別配信要実育様に基づくものであればその個 別配信要実を登起したユーザの基件能をの識別 ID は イ X O I 2 3"、 B G 5 5 9 0"のように設 定される。また、そのコンテンツデータが上記側別配信 要求情報に基づくものでない場合、全ての携帯組末で受 信可能であることを示す特別な識別 ID, 例えば" X X 0 0 0 0"が認定される。

【0016】また、上記送受信ユニット14は、携帯端 末2との間の無線通信を制御する。携帯端末2が当該基 地局1の無線通信エリア内に入った時に送信される配信 要求データ (図6参照,詳細は後述する)を受信する と、上記送受信ユニット14は割り込みを発生させて上 記配信要求データ中の識別 I Dを上記配信スケジュール 生成部13に、再生実績記録を上記課金情報管理サーバ 3 c にそれぞれ送信する。また、上記配信スケジュール 生成部13から送出された送信データを各換帯端末2に 向けて送信する。ここで、上記送信データは、図5に示 すように、固定長のフレームに分割され、それぞれフレ 一ム情報(全何フレームの何番目か)やCRCなどの課 り検出符号等よりなるヘッダ部が付加されて送出され る。尚、送信データを送信すると、その配信実績(例え ば配信相手の携帯端末ID,配信したコンテンツデータ のID, 配信日時等)が上記課金情報管理サーバ3ck 記憶され、後述する課金処理に於いて用いられる。上記 コンテンツデータは上述したようにTwinVOなどを 用いて圧縮されており、更に基地局1から携帯端末2へ のデータ送信は1SMパンドを用いて高速(例えば5M bps, 最大11Mbps程度) で行われるため、例え ば30分のニュース音声等を4秒程度で、5分の音楽を 5 秒程度で携帯端末に送信できる。従って、携帯端末2 は、半径50m程度の無線通信エリア内に滞在している 間に十分な量のコンテンツデータを受信することが可能 である。もちろん、放送形式で各株帯端末に一斉に配信 されるため、待ち時間が発生することもない。

[0017] (第零地末2)上記携作地末2は、図2に 示すように、送受信ユーリト21,一切一多社能配2 2,データ保存メディア23, 再生モジュール24,1 日記憶配25,コンテンツ保存モジュール26,好み情 物記憶配27,ロンテンツ保存モジュール26,好み情 物成されている。ここで、上記データ保存メディア23 としては、スマートメディアやコンパクトプラッシュな との機能可能な不解発性メモリを用いることが聖ましいが、例えば内域のフラッシュメモリやDRAMなどを用 いることも可能である。また、上記一時データ記憶加2 2は、受信データパッフア、コンテンツテーブルデータ パッフアの2つの能域で構成されている。上記送受信は ニット21は、基限目との信候を観度と着作する。 後述する受信データの復元、再生等の処理が行われていないとき、逆受信エーット21は電波付き受け状態となる。この符を受け状態で基準にありたの電波を使けすると (叩き、当底排除端末2が基地局10無線指信エリア・内に入ったことを検討すると)、上記10距離25に下か記憶されている当該疾療端珠(活しくはそのユーザ)の趣別10と、上記7年実積記録に対応28に記憶されている再実機能緩(後近する)とで構成される配信要求データ(図6参照)を上記基地局1に対して送信信更ルでデータ(図6参照)を上記基地局1に対して送信の10 した後、上記基地局1から送信された上記送信データの受意を開始人。それを解し、これを解している。

10 した後、上記基地局」から返宿される上記送信データの 受信を開始し、それを輝次一時データ記憶部22の受信 データパッファに松桁する。尚、上記基地局10無線通 信エリア内に入ったことを検討する方法としては、例え ば電界強度検出回路によって電界強度のディジタル値を 直視し、一定期間の電界強度値やその終計値(平均、分 枚等)に基づく所定の評価値が関値を超えた時点で上記 基地局10無能が置こりア内に入った(即ち上記基地局 1と適便可能)と判断することが考えられる。更に、上 記基地局1から受信したデータのペッダ部分に埋め込ま 20 れたCRCフラグなどの説り検出符号によってエラーチ ェックを行い、エラー側とと削ぎるおれる所で・打室地

【0018】上記コンテンツ保存をジュール26は、上 出一等データを記憶が20変更データパッフトに職大格 的される送信データから、全てのフレームが正常に受信 された各コンテンツデータについて、予め上監好を清明と 記憶が27年となって、予め上記が多大学の コンテンツデータの原性情報とに基づいて保存の優先順 位を決定し、その優先順位に従って上記コンテンツダー 30 タをデータ保存メディア23に保存する。上述したよう

局1と通信可能と判断するようにしてもよい。

タをアータ保存メアイア 2 3 に原体する。上近による 、 基地島 1 の無線遺信エリア内に存在する携帯端末 2 の好 み情報に基づいて決定された配信メケジュールに従って 配信されるが、ユーザの個別配信要求によって特別に配信されるエンテンツデータが手の携帯端末 2 ローザの好みを完全 に隣退しているとは限らない。一方、携帯端末とにセットされるデータ保存メディア 2 3 の記憶容量にも関りがある。そこで、上記コンテンツ保存ギジュール 2 6 は、上記データ保存メディア 2 3 の記憶容量の範囲がで、ユ

一切の好み情報になるべく合致したコンテンツデータを 優牙的に保守する処理を行う、その第、自分自身の腕別 I Dが、コンテンツ管理情報内に設定されている受け政 り可能な携帯端末の腕別 I Dに含まれていない場合に は、そのコンテンツデータは保存されず、破棄される。 これにより、上記個別配信要求に基づいて特定の無帯場 末に向けて配信されるコンテンツデータが、その他の携 帯端末に保存され、再生されることを的止できる。即 り、このようなしくみにより、放送型の情報に信の形を りとりながら、1対1の情報に経り間を保証を

成することができる。上記コンテンツデータの保存処理 手順の具体例については後述する。

【0019】また、再生モジュール24は、ユーザから の再生要求に応じて、データ保存メディア23内に保存 されたコンテンツデータの復元と再生を行う。コンテン ツデータの再生が終了すると、上記再生モジュール24 は、そのコンテンツデータのIDを再生実績記録として 再生実績記録記憶部28に書き込む。即ち、上記再生実 績記録記憶部28にIDが記録されているコンテンツデ 一タは、この携帯端末2によって正常に受信され、再生 10 1). コンテンツデータ記憶部12内に格納されている されたコンテンツデータである。上述したように、携帯 端末2が基地局1の無線通信エリア内に入った時、識別 I Dと共にこの再生実績記録を上記基地局1に送信する ことにより、上記基地局1側では、送信したコンテンツ データが正常に受信され、再生されたことを認識するこ とができる。上記課金情報管理サーバ3 cは, この再生 実績記録に基づいて課金処理を行う。課金処理の具体例 については後述する.

【0020】引き続き、上記配信スケジュール生成部1 3による配信スケジュール生成手順、コンテンツ保存モ 20 ジュール26による処理手順、課金処理のそれぞれの具 体例について詳述する。

(配信スケジュール生成部13による配信スケジュール 生成手順の具体例) 上記配信スケジュール生成部13に よるユーザの好み情報に基づく配信スケジュールの生成 処理手順を、図7を参照しつつ説明する。配信スケジュ ール生成部13は、上記ユーザ情報管理サーバ3aに設 定されているユーザの好み情報と、現在無線通信エリア\*

$$D = \sum M a \times (0, Y_{I} - X_{I})$$

を求め、上記Dが最小となる番組を次の放送番組とす る。図8の例では番組29のDが0、46で最小となる ため、まず番組29が最初の放送予定に組み込まれる。 次は、上記番組29を放送実績番組とし、これとその他 の各番組とで上記放送実績分布X:を計算し、これが最※

$$D = \sum (Y_1 - X_1)^2$$

としてもよい。 図8の右下に示す番組予定計算結果に示 すように、番組予定が進むほどユーザニーズと番組実績 との距離が小さくなり、ユーザニーズが満たされていく ことが分かる。即ち, この放送番組の決定方法によれ ば、連続して流される複数の番組によってユーザニーズ 40 が補完的に満足される。以上のように、半径約50mと いう限られた無線通信エリア内に存在する携帯端末を認 識し、それら携帯端末毎に予め設定された好み情報に基 づいてコンテンツデータの配信スケジュールを生成する ため、生成される配信スケジュールは従来の広域での放 送型情報配信のものと比べて各携帯端末のユーザの喀好 に合ったものとなる。また、通信エリア内にユーザが存 在しない場合は、予め決められたコンテンツ (例えば二 ュース)を繰り返し配信するようにしてもよいし、エリ

\*内に入っている携帯端末(若しくはユーザ)の織別ID とに基づいて、現在のニーズ分布を計算する (§5

(7)

3)。ここで、現在無線通信エリア内に入っているユー ザ(過去一定時間内に無線通信エリア内に入ったユーザ をこれと見做す)の識別 I Dは、送受信ユニット14に よって所定の識別 I Dパッファに格納されている (S5 S52)。一方で、配信スケジュール生成部13

は、課金情報管理サーバ3 c に格納されている過去一定 時間内に配信されたコンテンツのIDを獲得し(S6

各コンテンツデータの属性情報を参照して放送実績分布 を計算する(S62)。続いて、上記ユーザのニーズ分 布と上記放送実績分布との差を求め、これを最小にする 番組を選択し、以後所定時間内に配信する番組予定を生 成する(S71)。

【0021】以上説明した情報配信スケジュールの決定 処理の具体例を図8を用いて説明する。なお、図中、属 性値としては1/20の値が示されている。即ち、0か ら100までの整数で表す場合は、表中の値を20倍す

ることで与えられる。また、エリア内のユーザの好み情 報については、例えば、原件1に関して属件信「5」の 人が30人。属性値「4」の人が40人であることを示 している。まず、ユーザの好み情報に基づいて、各属性 iの値の平均値を更に正規化したYrを計算し、これを 上記二一ズ分布とする。また、初期状態では過去の放送 実績がないため、各番組についてそれぞれ各属性:の信 を正規化したXIを計算し、これを上記放送実績分布と する。そして、各番組毎に

30 ※小となる番組を次の放送予定に組み込む。ここでは、ト 記番組29と番組15とで計算した場合のDが0.26 で最小となったため、番組15が番組29に続いて放送 予定に組み込まれる。以後、所定時間内の放送予定が決 定するまで上記処理が繰り返される。尚、距離は、

## ... (b) 撤送波を発信し続けていてもよい。

【0022】 (コンテンツ保存モジュール26による例 理手順の具体例)上述したように、基地局1から携帯端 末2に送信されるコンテンツデータは、その基地局1の 無線通信エリア内に存在する推帯端末2の好み情報に其 づいて決定された配信スケジュールに沿って配信される が、ユーザの個別配信要求によって特別に配信されるコ ンテンツデータ以外は、配信される全てのコンテンツデ 一夕が個々の携帯端末2のユーザの好みに合ったもので あるとは限らない。一方、携帯端末2にセットされるデ 一タ保存メディア23の記憶容量にも限りがある。そこ で、上記コンテンツ保存モジュール26は、上記データ 保存メディア23の記憶容量の範囲内で、ユーザの好み 情報になるべく合致したコンテンツデータを優先的に保 ア内に到達した端末がそのことを検知するための単なる 50 存する処理を行う。また、コンテンツデータの配信は放

(8)

送形式で複数の携帯端末に対して一斉に行われるため、 個別配信要求によって特定の推帯端末向けに详信される コンテンツデータについても他の携帯端末に受信される こととなる。そこで、特定の機帯錦末向けに详信される コンテンツデータが他の携帯端末で保存、再生されるこ とがないよう、予めコンテンツ管理情報内に設定された 識別IDを持つ携帯端末以外はそのコンテンツデータの 保存を行えないようにする。

【0023】図9及び図10を用いて、上記コンテンツ 保存モジュール26の処理手順を具体的に説明する。図 10 9は、一時データ記憶部22の受信データバッファ内の 送信データをフレーム単位で取り出し、全フレームが正 常に受信されているコンテンツデータのコンテンツ管理 情報を取り出す処理の手順を示している。尚、ステップ S 8 1~S 8 3 は、上記送受信ユニット 2 1 による一時 データ記憶部22の受信データバッファへの送信データ の書込処理を示している。まず、コンテンツ保存モジュ ール26は、一時データ記憶部22の受信データバッフ ァから1フレームづつ読み出す処理を、送信データの先 頭フレームが見つかるまで繰り返す(ステップS84~ S 8 6)。途中でデータの末尾が検出されると、その時 点で当該処理は終了する。尚、送信データの先頭フレー ムか否かの判断はヘッダ部のフレーム情報を参照するこ とにより可能である。送信データの先頭フレームが見つ かると、コンテンツ保存モジュール26は受信データバ ッファから更に1フレーム読み出し(S87), その読 み出しが成功すれば(データの末尾でなければ)、その フレームデータが正しいか否かを判断する(S88, S 89)。ステップS88で読み出し失敗と判断されれば (即ちデータの末尾が輸出されれば)、当該処理はその 30 時点で終了し、ステップS89でフレームデータに異常 が発見されれば処理は上記ステップS84に進む。上記 ステップS87~S89は、コンテンツデータの末尾フ レームが検出されるまで繰り返される(S90)。S9 0においてコンテンツデータの末尾フレームが検出され ると(この場合、そのコンテンツデータは全てのフレー ムが正常に受信されている). そのコンテンツデータの コンテンツ管理情報 (コンテンツの属性情報や一時デー タ記憶部22内の開始/終了位置の情報など)を解読 し、コンテンツテーブルデータバッファ (コンテンツの 40 目次であり、どのようなコンテンツが一時データ記憶部 22内のどの位置からどの位置まで格納されているかが 記録される)に書き込んだ後、それをコンテンツテープ ル (図10) に書き込む (\$91) 。ここで、自分自身 の識別IDが、コンテンツ管理情報内に設定されている 受け取り可能な携帯端末の識別IDに含まれていない場 合には、そのコンテンツデータについてはコンテンツテ ープルデータバッファ、及びコンテンツテーブルへの書 き込みは行われない。その後、上記ステップS87以降 の処理が繰り返される。以上の処理により、コンテンツ 50 ある基地局1の無線通信エリア内に入ると、その存在を

テーブルデータバッファには、当該携帯端末での受信が 許されており、且つ全てのフレームが正常に受信されて いるコンテンツデータの格納位置が記録され、コンテン ツテーブルにはそれらのコンテンツデータの属件情報等 が格納される。

【0024】図10は、上記のような処理によって生成 されたコンテンツテーブルの一例である。図10に示す コンテンツテーブルの最初の行は好み情報記憶部27に 記憶されているユーザの好み情報であり、その他は受信 した各コンテンツデータの属件情報と一時データ記憶部 22内の開始/終了位置の情報である。上記コンテンツ 保存モジュール26は、各コンテンツの属性情報とユー ザの好み情報との距離をそれぞれ計算し、その距離が小 さいコンテンツデータを優先的にデータ保存メディア2 3に保存する。距離が同一の場合には予め定められたル ールに従えばよい。図10の例では、各コンテンツデー タの優先順位は例えばコンテンツ1、3、2、4の順と なる。但し、データ保存メディア23上に既に保存され ているコンテンツデータについては改めて保存する必要 はない。本情報配信システム2.1では、上述したように 基地局1の無線通信エリア内に存在する携帯端末2の好 み情報に応じた配信スケジュールでコンテンツデータを 配信するため、従来の放送形式の情報配信と比べて高い レベルでユーザのニーズを満足することができるが、無 線通信エリア内に複数の携帯端末が存在する場合には、 当然ながら配信されるコンテンツデータの中には自分の 好みに合わないものも含まれることになる。しかしなが ら、上記のように携帯端末2側で自分の好み情報に合っ たコンテンツデータのみを選択的に保存することによ り、上記のような配信側の若干の欠点も完全に解決でき る。また、限られた記憶容量の有効利用という面でも非

常に効果的である。 【0025】 (課金処理の具体例) コンテンツデータの 配信に対して課金を行うにあたっては、コンテンツデー タが正常に配信されたことを確認することが必要とな る。配信側がコンテンツデータの配信を行っても、それ が正常に受信側に受信されていなければ、課金を行うこ とは適切ではないからである。これは、伝送エラーが発 生しやすい無線による情報配信においては特に重要な問 題である。もちろん、無線による情報配信であっても 1 対1の通信による配信であれば、常に送信エラーをチェ ックすることが可能であるため特に問題はない。しかし ながら、本実施の形態に係る情報配信システム2.1で は、上述したように基地局1から各携帯端末2に対して 放送形式でコンテンツデータを配信するため、基本的に コンテンツデータの配信が正常に行えたか否かをその時 点で確認することはできない。そこで、本実施の形能に 係る情報配信システムZ1では、次のような方法でこの 問題を解決している。上述したように、携帯端末2は、

基地局 1 に知らせて自分の好みに合ったコンテンツデー タを配信してもらうため、自身の認識 I Dを含む配信要 求データを上記基地局1に送信する。そこで、この配信 ツデータのIDよりなる再生実績記録を含めることで、

要求データに、過去に正常に受信し再生されたコンテン 上記基地局 1 側に、過去に送信したコンテンツデータが 正常に受信され、再生されたか否かを認識させる。 【0026】携帯端末2から基地局1に送信される上記 配信要求データは例えば図6に示すように構成される。 基地局1は、上記配信要求データ1を受信すると、その 10 中の再生実績記録を課金情報管理サーバ3 c に送信す る。課金情報管理サーバ3 cは、過去のコンテンツデー タの配信実績と上記再生実績記録とを照合し、それらが 一致したものについて課金処理を行う。図11は、課金 情報管理サーバ3 c における配信コンテンツに関する管 理情報の一例である。該管理情報には、認識ID毎にコ ンテンツの配信実績(コンテンツID. 配信した基地局 の I D. 配信日時) が記録されており、それに対応する 再生実績記録(コンテンツID,この再生実績記録を受 信した基地局の I D、再生実績記録の受信日時) が後か 20 ものについて上述したような課金処理を行う (S3 ら記録される。図11の例では、携帯端末XYZ1に配 信されたコンテンツデータJPOP111とJPOP1 23のうち、JPOP123については再生実績が確認 されたが、JPOP111については再生実績が確認さ れていない(配信エラー、或いは未再生)。従って、こ の2つのコンテンツデータのうち、JPOP123のみ 課金対象として処理される。 尚 好み情報に其づく通常 の配信コンテンツの受信については定額料金とし、個別 配信要求に基づく配信コンテンツについて追加料金を加 算する場合には、この再生実績記録による正常配信/再 30 生の確認は個別配信要求に基づく配信コンテンツのみ行 うようにしてもよい。また、上記の例では携帯端末側で コンテンツデータの再生まで行ったことを示す再生実績 記録に基づいて課金処理を行うようにしたが、例えば、 正常に受信を行ったことを示す受信実績記録に基づいて 課金処理を行うようにしてもよい。以上説明したよう に、携帯端末2から基地局1に対して過去の再生実績記 録等を送信することにより、送信したデータが受信側で 正常に受信されたか否かを確認できないという従来の放 送形式の情報配信の欠点を解消し、正しく課金処理を行 40 うことが可能となる.

【0027】続いて、図3に示すフローチャートを参照 しつつ、本実施の形態に係る情報配信システム 2.1 にお ける一連のデータ配信手順について説明する。サーバ3 のユーザ情報管理サーバ3 aには、例えばインターネッ トなどを介して予め全登録ユーザの好み情報が設定され る。また、特定のコンテンツデータの配信を特に希望す るユーザからの個別配信要求情報も必要に応じて設定さ れる(\$30)。携帯端末2に配信するためのコンテン ツデータ及びその属性情報は、サーバ3のコンテンツサ 50 一夕を取り出し、予め上記好み情報記憶部27に設定さ

-バ3bに蓄積、管理されており、それらの一部が例え ば定期的に基地局 1 に対して送信される (S31→S1 上記コンテンツサーバ3bから基地局 L に転送さ れるコンテンツデータは、例えば基地局毎の配信実績等 を考慮して選択される。 コンテンツサーバ3 b から送信 されたコンテンツデータ及びその属性情報は、基地局 1 のコンテンツデータ記憶部12に記憶される。携帯端末 2は、コンテンツデータの再生等の処理が行われていな い時には、その送受信ユニット21が電波待ち受け状態 となっている (S21)。この待ち受け状態で基地局1 からの電波を受信すると (即ち、当該携帯端末2が基地 局1の無線通信エリア内に入ったことを検知すると), 上記送受信ユニット21は基地局1に対して配信要求デ ータ (図6参照) を発信する (S22)。基地局1で は、携帯端末2からの配信要求データを受信すると(S 12), その中の再生実績記録を課金情報管理サーバ3 c へ送信する (S 1 3)。再生実績記録を受信した課金 情報管理サーバ3 cは、過去のコンテンツデータの配信 実績と上記再生実績記録とを照合し、それらが一致した

2) 。 【0028】また基地局1は、上記配信要求データ中の 識別IDに対応する好み情報の送信をユーザ情報管理サ ーバ3aに要求し(S14)、ユーザ情報管理サーバ3 aからそれを受信する(S33→S14)。そして、配 信スケジュール生成部13において、コンテンツデータ 記憶部12内に格納されている各コンテンツデータの属 性情報と上記ユーザの好み情報とに基づいてコンテンツ データの配信スケジュールを生成し(S15), その配 信スケジュールに従ってコンテンツデータとそのコンテ ンツの管理情報とで構成される送信データ(図4)を生 成する(S16)。ここで、上記コンテンツ管理情報に は、そのコンテンツデータの属性情報以外に、個別配信 要求によって特定の携帯端末宛に送信されるコンテンツ データについてはその携帯端末の識別IDが、その他の コンテンツデータについては全ての携帯端末で受信可能 であることを示す特別な識別 I D. 何えば" X X O O O 0"がそれぞれ格納される。生成された送信データは、 固定長のフレームに分割され、それぞれフレーム情報 (全何フレームの何番目か) やCRCなどの誤り検出符 号等よりなるヘッダ部が付加されて送出される(S1 7)。そして、その配信実績(例えば配信相手の携帯端 末ID. 配信したコンテンツデータのID. 配信日時 等) が上記課金情報管理サーバ3cに配信実績記憶とし て格納され、上記課金処理に用いられる(S34)。携 帯端末2は、上記送信データを受信すると、それを一日 一時データ記憶部22に格納する(S23)。そして、 コンテンツ保存モジュール26は、上記一時データ記憶 部22に順次格納される送信データから各コンテンツデ

れているユーザの好み情報と上記各コンテンツデータの 属性情報とに基づいて決定される優先順位に従って上記 コンテンツデータをデータ保存メディア23に保存する (S24)。この時、ID記憶部25に記憶されている 自分自身の識別IDが、コンテンツ管理情報内に設定さ れた受け取り可能な携帯端末の識別 I Dに含まれていな い場合には、そのコンテンツデータは保存されず、砂塞 される。その後、ユーザから面生要求が入力されると、 再生モジュール24により、データ保存メディア23内 に保存されているコンテンツデータの復元と再生が行わ 10 れる(S25)。コンテンツデータの再生が終了する と、上記再生モジュール24は、そのコンテンツデータ の I Dを再生実績記録として再生実績記録記憶部28に 書き込む(S26)。この再生実績記録は、次回の配信 要求データの送信(S22)において上記配信要求デー タに組み込まれて基地局1に送信される。

【0029】以上説明したように、本実施の形態に係る 情報配信システム21によれば、無線を用いた放送形式 の情報配信を行うことによって従来の1対1の情報配信 のような待ち行列を伴うことなく大量の情報を同時に複 20 数のユーザに配信することが可能であると共に、基地局 1の無線通信エリア内に存在する携帯端末を認識し、そ れらの携帯端末2の好み情報に基づいて編成された配信 スケジュールに従って情報を配信するため、放送形式の 情報配信でありながら個々のユーザのニーズに合った情 報配信を行うことが可能である。また、通信手段として 無線を用いており、携帯端末2は基地局1の無線通信エ リアに入ったことを検知して自動的に情報の受信を行う ため、ユーザはコネクタによる機器の接続など煩わしい 操作を行う必要がない。更に、携帯端末2では、予め設 30 定された好み情報と受信したコンテンツデータの属性情 報とに基づいて保存の優先順位を決定し、その優先順位 に従ってデータ保存メディア23の記憶容量の範囲内で 保存を行うため、ユーザの好み情報に合致しないコンテ ンツデータを排除することができ、また限りある記憶容 量を有効に利用することが可能である。また、基地局1 から送信される各コンテンツデータの管理情報には、そ のコンテンツデータの受け取りを許可する携帯端末の識 別IDが格納されており、携帯端末2では、受信したコ ンテンツデータの管理情報内に格納されている受け取り 可能な携帯端末の識別【Dに自分自身の識別【Dが格納 されていない場合には、そのコンテンツデータは破棄さ れるため、個別配信要求に基づいて特定の携帯端末に向 けて配信されるコンテンツデータが、その他の携帯端末 に保存され、再生されることを防止できる。即ちこれに より、放送型の情報配信の形をとりながら、1対1の情 報配信と同様の機能も同時に達成することができる。更 に、携帯端末2が基地局1の無線通信エリア内に入った とき、上記携帯端末2から基地局1に対して過去の再生 実績記録等が送信されるため、基地局 1 から送信された 50 が、例えば利用客がレストランに入店する際にレストラ

コンテンツデータが携帯端末2側で正常に受信されたか 否かを確認できないという従来の放送形式の情報配信の 欠点を解消し、正しく課金処理を行うことが可能とな 8.

【0030】 (変形例) 上記の例では、ユーザの好み情 報をユーザ情報管理サーバ3 a内に予め登録しておき、 基地局1は携帯端末2から識別IDを受信すると、その 識別IDに対応する好み情報を上記ユーザ情報管理サー パ3aから取り出すように構成したが、上記好み情報

- を、上記識別 I Dや再生実績記録と共に配信要求データ 内に格納して携帯端末2から基地局1に対してその都度 送信するようにしてもよい。これにより、 基地局 1 とサ 一バ3との間の通信負荷を経滅することが可能である。 また、個別配信要求については、上述したように例えば インターネット等を用いて予め設定しておけば、次に基 地局1と通信可能となった時に自動的にそのコンテンツ データを受信することが可能であるが、例えば基地局1 に個別配信要求の入力手段を設けておき、 携帯端末2を 携帯したユーザによってこの入力手段から個別配信要求 が入力された時点でそのコンテンツデータを送信するこ
- とも可能である。尚、上記好み情報も上記基地局1の入 力手段から脊縄できるようにすることも可能である。ま た、特に限られた1つのエリア内でのみ情報配信を行う ような場合には、複数の基地局1と1つのサーバ3とい う構成ではなく、1つの基地局1内にサーバ3の機能を 一体化させた構成も可能である。また、上記実施の形態 では、配信されるコンテンツとして静止面、動画などの 画像コンテンツ、音楽コンテンツ、ニュース等の文字/ 音声コンテンツなどを例に挙げたが、例えば、文字や画 像から構成されるWEBコンテンツ(HTMI.文書)を
- 配信し、携帯端末2には再生モジュール24のかわりに 液晶などのWEB文書表示モジュールを搭載してもよ い。或いは、ゲームその他のアプリケーションプログラ ム(IAVAのアプレットなど)をコンテンツとして配 借し、携帯端末2には再生モジュール24のかわりにプ ログラム実行モジュールを搭載してもよい。これによ り、例えば携帯端末2をパソコンやゲーム機などと同様 の機能を持ったパーソナル携帯情報ツールとして利用で
- 【0031】(具体的応用例)上記情報配信システム2 1は、例えば具体的には次のような広田例が考えられ る。
  - (1) レストランでの情報配信システム
  - レストランの利用客の携帯端末より、「本日のお勧め料 理」「ワインの案内」「BGM」など、食事が出るまで の待ち時間や食事中に聞きたい情報を好み情報としてレ ストラン内の基地局に送信し、それに合致したコンテン ツを基地局から利用客の携帯端末に配信する。この場 合、携帯端末は利用客の個人所有のものを用いてもよい

1

ン側から貸与するようにしてもよい。これは以下の例に ついても同様である。

#### (2) 新譜 CD, ビデオ案内システム

CDショップやレンタル店で、利用客の携帯端末より、 好みのジャンル(POPS、Classicなど)を好 み情報として店内の基地局に送信し、そのジャンルの新 講情報や注目情報を基地局から利用客の携帯端末に配信 \*\*\*ス

## (3) チケット案内システム

チケット隣買客の携帯端末より、「減動」、「コンサー 10 記基地局に対して所定の情報を送信し、上記基地局は、 ト」などのジャンルを好み情報として基地局に送信し、 た記携帯端末から受信した上記所定の情報に基づいて」 記無練通信エリア内に入った上記携帯端末を認識し、 君 ら野識とれた規律を表すといるというにより の携帯端末に記信する。

# (4) 大型ショッピングモール

買い物字の携帯端末より、「食料品」、「書籍」など商品ジャンルを好み情報として店内の基地局に送信し、それらの商品ジャンルに関するお買い得情報を基地局から買い物字の携帯端末に配信する。

#### (5) 音楽教室や勢など

生徒の携帯端末より、生徒の識別 I Dを基地局に送信 し、その生徒にあった情報(模範演奏、補習講義など) を基地局から生徒の携帯継末に配信する。

# (6) レース情報配信システム

客の携帯端末より、ユーザー識別ID、好み情報(レースNo. 好きな予想屋)を基地局に送信し、該当するレース、予想屋の予想情報を基地局から客の携帯端末に 配信する。

#### (7) 講話配信システム

ユーザの携帯端末より、「人生について」、「ビジネス について」などの配題を好み情報として送信し、それに 30 合致した脱救、跳和を基地局からユーザの携帯端末に配 信する。

#### (8) 占い配償システム

ユーザの携帯端末より、ユーザの識別ID及び占いのジャンル (「高島暦」、「星占い」など)を基地局に送信し、ユーザの個人情報を参照した上で、好みに合致した 古い情報 (今日の星座占いなど)を基地局からユーザの標準端末に配信する。

#### (9) 観光・物産ガイドシステム

ユーザの携帯端末より、好み情報として、欲しいガイド 40 情報の分野(「歴史」、「グルメ」など)を基地局に送 信し、それに合致したコンテンツを基地局からユーザの 携帯端末に配信する。

#### (10) スポーツ情報配信システム

ユーザの携帯端末より、好み情報として、スポーツチー ムやブレーヤーなどを特定する情報(「巨人情報」「長 島情報」など)を送信し、それに合致したコンテンツを 基地局からユーザの携帯端末に配信する。

## (11) 道路情報ガイドシステム

ガソリンスタンドやサービスエリア内に基地局を設置

し、ユーザの携帯端末からユーザが情報を得たい地域などを送信する。基地局はユーザが希望する地域の道路状 近や観光案内などのコンテンツをユーザの携帯端末に送 信する。

#### [0032]

【発明の効果】以上説明したように、本発明は、1つの 基地局から複数の携帯端末に対して無線により情報を配 信する情報配信システムであって、上記携帯端末は、上 記基地局の無線通信エリア内に入ったことを検知して上

- 記基地局に対して所定の情報を送信し、上記基準局は、 上記携帯端末から受信した上記所定の情報に基づいて上 記無練道によりア内に入った上記形帯端末を認識し、そ れら認識された携帯端末若しくはその所有者の好み情報 に基づいて編成された記記スケジュールに従って、一 無練通信エリア内の各房帯端末に対して一字に情報を送 値することを特徴とする情報配信システムとして構成さ れている。このような構成により、無線を用いた放送形 の情報配信を行うことによって従来の1 対 1 の情報配 値のような待ち行列を伴うことなく情報を同時に複数の 個のような待ち行列を伴うことなく情報を同時に複数の
- 20 ユーザに配信することが可能であると共に、基地周の無 縮値圧・リア内に存在する特帯機末の好み情報に基づい て編成された配信なイシュールに従って情報を配信する ため、放送形式の情報を指信でありなから値々のユーザの ニーズに合った情報配置を行うことが可能となる。また、通信手段として無縁を用いており、携帯端末は基地 房の無線通信エリアに入ったことを検知して自動的に情 報の受信を行うため、ユーザは情報の受信に先立ってコネクタによる観器の接続など類わしい操作を行う必要が ない。
- 10 【0033】また、基地局の無線通信エリア内に入った 携帯機末に関する好力情報を基地局間で取得する仕組力 としては、例えば上記情帯端末が強信する上記所定の情 報に上記携帯端末若しくはその所有者の種別情報を含ま せておき、上記基地局内容しくは核基地局と遠信可能な サーバ内に上記機帯端末部としませの所有者の上記 好み情報を予め登録しておけば、上記基地局若しくは上 記サーバは、上記機帯端末から受信した上記機別情報に 基づいて上記機帯端末に関する好か頻報を取得できる。 この時、上記好の情報の登録は、例えば上記携帯端末、
- のインターネット、公療回輸等を介して行うことが可能である。また、基地局の無輸通信エリア内に入った携帯端末に関する好み情報を基地局側で取付するその他の仕組みとしては、上記携帯端末が送信する上記所述の情報と上記携帯端末若しくはその所有者の上記好み情報を含ませておくことも考えられる。これにより、基地局側で好み情報を検索する際の処理負荷や、サーバ内の好み情報を基地局に送信する際の遺信負荷等を経滅することが可能である。
- 【0034】また、上記基地局は、特定の携帯端末若し 50 くはその所有者からの要求に基づいて、特定の情報を上

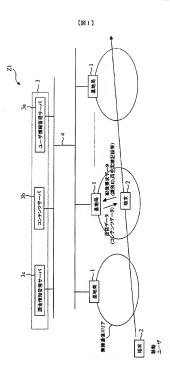
記特定の携帯端末の識別情報を付加して送信し、上記機 帯端末は、自分自身の識別情報と上記特定の情報に付加 された上記識別情報とが一致した場合にのみ上記特定の 情報を再生可能に構成すれば、特定の携帯端末に向けて 配信される特定の情報が、その他の携帯端末に再生され ることを防止できる。これにより、放送型の情報配信の 形をとりながら、1対1の情報配信と同様の機能も同時 に達成することができる。この時、上記集帯端末は、上 記特定の情報に付加された上記識別情報と自分自身の識 別情報とが一致しない場合には、例えば受信した上記特 10 定の情報を破棄するように構成すればよい。ここで、上 配特定の情報の要求を、予めインターネット若しくは公 衆回線を介して入力可能とし、上記基地局は、上記特定 の情報の要求が入力された状態でその要求の対象である 携帯端末が無線通信エリア内に入った時、上記特定の情 報の送信を行うようにすれば、ユーザは予め上記特定の 情報の要求を設定しておくことで、次に基地局の無線涌 信エリア内に入った時には特に何の操作も行うことなく 自動的にその情報が取得でき、便利である。また、上記 基地局に上記特定の情報の要求を入力する入力手段を搭 20 ジュールの決定処理の具体例の説明図。 截し、上記基地局は、上記入力手段から上記特定の情報 の要求が入力された時点で上記特定の情報の送信を行う ように構成するか、或いは上記特定の情報の要求を上記 携帯端末を介して入力可能とし、上記基地局は上記携帯 端末を介して上記特定の情報の要求が入力された時点で 上記特定の情報の送信を行うように構成すれば、ユーザ は其地局或いは推帯線末から欲しい情報を入力すればそ の時点ですぐにその欲しい情報を受信することができ、 従来の自動販売機を用いた情報配信と同様の機能も実現 できる。但し、無線を用いて情報を受信するため、従来 30 のようにコネクタによる機器の接続などの行わしい操作 を行う必要はない。

【0035】また、各携帯端末への課金情報について は、上記基地局が上記携帯端末から受信した上記所定の 情報と、該所定の情報に対応して送信した情報の送信実 績とに基づいて生成することが考えられるが、正確な課 金を行うためには送信した情報が推帯端末で正常に受信 されていることを確認する必要がある。この確認の方法 としては、上記携帯端末が送信する上記所定の情報に、 過去に正常に受信した情報の受信実績記録若しくはそれ 40 21…送受信ユニット らの情報の再生実績記録を含ませておき、基地局で受信 した上記受信実績記録若しくは上記再生実績記録に基づ いて課金を行うようにすることが考えられる。これによ り、基地局から送信された情報が携帯端末側で正常に受 信されたか否かを確認できないという従来の放送形式の 情報配信の欠点を解消し、正しく課金処理を行うことが 可能となる。更に、上記携帯端末は、上記基地局から受 信した情報のメモリへの保存の優先順位を、予め設定さ

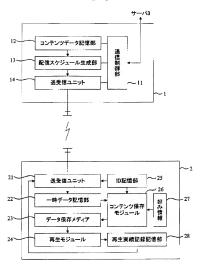
れた好み情報と上記情報の属件情報とに基づいて、例え ばそれらの距離が小さいものほど高く設定するようにす れば、ユーザの好み情報に合致しない情報を自動的に排 除することができ、情報再生の際のユーザの利便性が向 上すると共に、限りある記憶容量を有効に利用すること が可能である。

## 【図面の簡単な説明】

- 【図1】 本発明の事権の形態に係る情報配信システム Z 1 の概略構成図。
- 【図2】 上記情報配信システム21を構成する基地局 1と携帯端末2の概略構成を示すブロック図。
- 【図3】 上記情報配信システム21における情報配信 処理手順を示すフローチャート。
  - 【図4】 送信データの構成図。
  - 【図5】 上記送信データのフレーム構成図。
  - 【図6】 配信要求データの構成図。
  - 【図7】 配信スケジュール生成部13による配信スケ ジュールの決定処理手順を示すフロー図。
- 【図8】 配信スケジュール生成部13による配信スケ
- 【図9】 一時データ記憶部22内の送信データからコ ンテンツデータのコンテンツ管理情報を取り出す際の処 理手順を示すフローチャート。
- 【図10】 図9に示す処理によって生成されたコンテ ンツテープルの一例。
- 【図11】 課金情報管理サーバ3cにおける配信コン テンツに関する管理情報の一例。
- 【符号の説明】 1…基地局
- 2…携帯端末
  - 3…サーバ
  - 3 a…ユーザ情報管理サーバ
  - 3 b…コンテンツサーバ
  - 3 c … 課金情報管理サーバ
  - 4 … 公寮回線
  - 11…通信制御部
  - 12…コンテンツデータ記憶部
  - 13…配信スケジュール生成部
- 14…送受信ユニット
- - 22…一時データ記憶部 23…データ保存メディア
  - 2.4…再牛モジュール
  - 25…ID記憶部
  - 26…コンテンツ保存モジュール
  - 2.7…好み情報記憶部
  - 28 再生実績記錄記憶部



【図2】



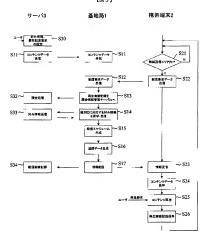
【図4】

コンテンツ管理情報	コンテンツデータ

[図5]

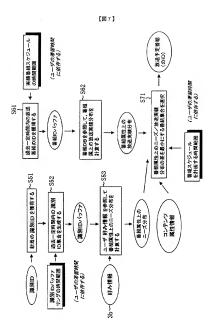


[図3]

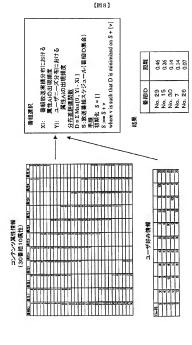


[図6]

識別ID	再生実績記録

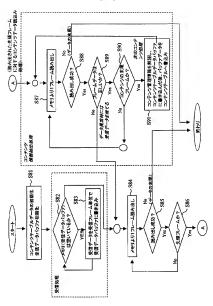


-16-



-17-

[図9]



【図11】 取信し。「消費」されたことが 確認された 一課金対象 配信したが 「消費」されていない 一課金対象外 通信範囲内にはいった場合に、端末は確認情報を情報キヨスクに 送信、情報キヨスクは、それを課金情報サーバに転送 00/02/19 盤田 キョスクID 強認情報 K631 情報キョスケル、通信可能節囲内にはいったユーザと そのユーザあてに送信したコンテンツの薬別子を課金 情報サーバに転送 コントンツロ JP0P123 00/02/17 00/02/15 集田 キヨスクロ K530 K535 的独コンドンシ コンナンバロ JPOP111 POP123 後来IDとユーザID は一対一で対応 課金仕載サーバ内 に対応デーブルを 記憶しておく XYZ1 ューザIDは禁念権税に対応・数行口の ・数行口の ・ケノジットカードロ条 ・諸求書活付先 など 7-4ID ş BBB

フロントページの続き

(72)発明者 高橋 英二

兵庫県神戸市西区高塚台1丁目5番5号 株式会社神戸製鋼所神戸総合技術研究所内 (72)発明者 古川 順一 兵庫県神戸市西区高塚台1丁目5番5号

兵庫県伊戸市西区高級台1丁目5番5号 株式会社神戸製鋼所神戸総合技術研究所内 [M10]

				ar. U.		
						21003
終立		32	90	06	Ξ	# TO # 17-01
銀帽		12	33	75	16	アレームs いらいまでの アンテンツはデータエテーのために 発棄された
94h1		トップニュース	中原中也辞集	ちこっとラブ	でいてていか	
Rock						コンテンツ1と3
的談			001			1
Classic					001	2 = 15000
体POP						ン・デンツ1 (106.40)72 - (500) コンテンツ2 (6.50)72 + (10.50)72 - (500) コンテンツ4 (6.50)72 + (10.50)72 - (10.60)72 - (200) コンテンツ4 (6.50)72 + (10.60)72 - (10.60)72 - (200)
dodf	90			100		(100-50)*2 + (0 - 50)*2 - 5000 (0-50)*2 + (0 - 50)*2 + (100-0) (0-50)*2 + (100-50)*2 + (100-0)*2 0-50)*2 + (0-50)*2 + (100-0)*2
X-12	20	100				71 (100-) 72 (0-50) 93 (0-50) 94 (0-50)
カテゴリ	ユーザの選枠	ロンテンツ1	コンテンツ2	コンテンツ3	コンチンツ4	部舗: コンナンシ1 コンナンシ2 コンナンシ3 コンナンシ3

(72)発明者 丸山 政克

兵庫県神戸市西区高塚台1丁目5番5号 株式会社神戸製鋼所神戸総合技術研究所内

(72)発明者 池田 英生

兵庫県神戸市西区高家台1丁目5番5号 株式会社神戸製鋼所神戸総合技術研究所内 (72)発明者 白坂 貴成

兵庫県神戸市西区高塚台1丁目5番5号 株式会社神戸製鋼所神戸総合技術研究所内

株式会社神戸製鋼所神戸総合技術研究所 Fターム(参考) 5K067 AA13 AA29 AA34 BB03 BB04

> BB21 CC14 DD17 DD52 DD53 EE02 EE10 EE16 FF02 FF04 GG01 GG11 HH05 HH22 HH23

HH24